

令和元年度 瑞穂野南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

社会に貢献できるよう、心身ともに健康で、豊かな人間性をもった実践力のある児童を育成する。

- ・ 健康で たくましい子（体）
- ・ よく考え やりぬく子（知）
- ・ 正しく 思いやりのある子（徳）
- ・ ふるさとを 愛する子（徳）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「人間尊重の教育」を基盤として、全職員が自らの使命を自覚し教育活動の充実に努めるとともに、家庭・地域と協働した地域とともにある学校づくりを推進し、学校教育目標の具現化を目指す。

目指す学校像 ・安全・安心な学校 ・力のある学校 ・地域とともにある学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○「健康でたくましい子」の育成に向け、基本的な生活習慣を身に付ける指導と主体的に健康な体づくりができる教育活動を推進する。
- (2) ○「正しく思いやりのある子」の育成に向け、道徳科の充実を図り、個々のよさを伸ばし、かかわることをとおして認め合い、豊かな人間関係を築く教育活動を推進する。
- (3) ○「よく考えやりぬく子」の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、学びに向かう集団づくりをとおして、学習意欲の向上を目指した学習活動を推進する。
- (4) 「ふるさとを愛する子」の育成に向け、地域ボランティアの協力を得た体験活動や、学習活動を推進する。また、本地域ならではの災害等を正しく理解し、自ら危険を予測して回避できる力を身に付けられる活動を推進する。
- (5) 保護者・地域と連携した教育活動の推進を図るため、社会に開かれた教育課程の視点に立ち、地域の教育力を最大限に生かし、家庭及び地域社会との連携を一層深めるとともに、地域協議会を効果的に活用し、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (6) 教職員が健康で教育活動へのやりがいをもって勤務し、質の高い教育が行えるよう、「働き方改革」の視点に立ち、職場環境改善の取組を推進する。
- (7) 教職員が、教育のプロとしての誇りを持つとともに、真摯な態度で自己研鑽に努め、児童に寄り添いながら一人一人を大切にされた教育活動を展開し、誰からも信頼される教職員として職務を遂行する。

【瑞穂野地域学校園教育ビジョン】

9年間の連続した学びの中で、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性）を育てる小中一貫教育

4 教育課程編成の方針

- (1) 編成にあたっては、関係法令、小学校学習指導要領、県教育委員会の指導指針、宇都宮市学校教育スタンダード、学校経営の方針等に基づき、学校及び児童の実態を十分に踏まえ、家庭・地域との連携・協働により、「社会に開かれた教育課程」を実現する。
- (2) 現行学習指導要領の内容を十分に理解し、人格の完成を目指し、個性の伸長と豊かな人間関係づくり、基礎的・基本的な学習内容の定着と活用力の育成を図るとともに、新学習指導要領を見据え、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、教科横断的な視点で内容の充実を図り、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことができる教育課程を編成する。
- (3) 児童一人一人の生きる力を育むために、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開し、教師と児童が一体となった創造的な活動に取り組む。また、特別の教科 道徳の時間を要として、学校教育活動全体、並びに家庭・地域における豊かな体験をとおして、児童の道徳性の育成を図り、道徳的実践力が養われるよう教育課程を編成する。
- (4) 小中一貫教育カリキュラムを展開していく中で、地域学校園の各学校と連携を図り、小中一貫教育の趣旨を十分に踏まえた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】 地域や家庭と連携し、児童も教職員も生き生きと主体的に活動できる安全・安心な学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な学校づくり ・児童が安心して楽しく通える学校づくり ・学力の向上を目指す学校づくり ・勤務時間を意識した働き方の推進によるゆとりのある学校づくり <p>【 学 習 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いをつなげ、学びの楽しさが見付かるカリキュラムの構想 <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他を尊重し、主体的に活動できる児童の育成 <p>【健康（体力・保健・食・安全）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康・体力に関心をもち、進んで健康な体づくりに取り組む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	<p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・保護者・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して、「話を聞く」「分かりやすく伝える」態度や技能が高まるように指導する。 ・火・金曜日朝に実施する「がっちり学習タイム」を活用して、国語・算数を中心に基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、より効果的な実施方法、児童の学力向上に向けての支援の手立てを工夫する。 ・授業での言語活動を重視し、自分の考えをまとめる時間を確保したり、発表や話し合いの場を設定したりして、主体的・対話的な学びの機会を保障する。 ・授業、日常の指導、児童会活動、学校行事や集会活動など、様々な機会を設けて返事や聞く姿勢（相手の発表への傾聴）を継続的に指導し、双方向的なコミュニケーションを大切にしようとする姿勢を育てる。 	B	<p>【達成状況】 児童 93.6% 保護者 92.9% 教職員 87.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも、目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的な取組を継続する。 ・ 「がっちり学習」の時間を活用し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 ・ 学習ルールの更なる徹底を図り、児童の学力やコミュニケーション力の向上を目指す。 <p>※ がっちり学習の採点では、担任以外の教職員も協力しながら、効果的な実施に努める。</p>
	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会、帰りの会で他者への優しい行いを称賛する。 ・思いやりに欠けた言動が見られた場合には、その都度丁寧に指導する。 ・人権教育年間指導計画に基づき、学校全体の教育活動において人権教育を推進する。 ・なかよし班活動や清掃などの異学年交流の場を活用し、相手の立場を理解して思いやる心を育てる。 	B	<p>【達成状況】 児童 96.4% 保護者 95.3% 教職員 100% 地域住民 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも、目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的な取組を継続する。 ・ なかよしタイムの継続実施とともに、なかよし班では、班を活用した清掃活動等、活動の機会を広げていく。

<p>A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童・保護者・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・帰りの会のふりかえりタイムなどとおして、児童が生活目標を進んで自覚し、落ち着いた生活を送ろうとする態度を育てる。</p> <p>・下校時刻など、時間を守ることの指導を徹底する。</p> <p>・“マナー3か条”「①先にあいさつをしましょう ②廊下や階段は静かに右側を歩きましょう ③友達は『さん』付けで呼びましょう」を設定し、「マナーを守っている」ことを実感できるようにする。また、「脱いだ靴を下駄箱にきちんと整頓する習慣」の会得を徹底し、自分自身の言動を振り返ったり他者のことも考えて行動したりできる児童の育成を目指す。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>95.0%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>96.2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>94.1%</td></tr> </table> <p>・ いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の具体的取組を継続する。 「履物そろえ」の習慣化を継続することで、他者を大切にしながら自分自身を振り返れる児童の育成を目指す。更に、トイレの「スリッパそろえ」についても指導を工夫する。 	児童	95.0%	保護者	96.2%	教職員	94.1%
児童	95.0%							
保護者	96.2%							
教職員	94.1%							
<p>A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・教職員・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>・児童会委員会による毎朝のあいさつ運動、下校時のあいさつ、児童集会での呼びかけなどにより、自ら進んであいさつしようとする態度を育てる。</p> <p>・学級での指導、集会時や日常の指導などとおして、全校体制であいさつを重視する環境づくりを進める。</p> <p>・教職員、保護者、来客に対して児童からあいさつできるようにするとともに、児童同士でも自ら先にあいさつできるよう、あいさつ強化週間を定期的に設定し、児童の意識を向上させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>97.9%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>82.4%</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100%</td></tr> </table> <p>・ 児童・地域住民は、目標を上回ったが、教職員はわずかに下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の具体的取組を継続する。 教員側から進んで丁寧なあいさつをし、模範を示したりあいさつ運動等を継続実施したりして、自主的にあいさつできる児童を育成する。 	児童	97.9%	教職員	82.4%	地域住民	100%
児童	97.9%							
教職員	82.4%							
地域住民	100%							
<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・各種検定等を継続的・計画的に位置付け、児童が自分なりの目標を設定し、進んで取り組もうとする態度を育てる。</p> <p>・児童の自己肯定感を高められるよう、教職員が認め励ます指導を継続して行うとともに、児童同士が相互に認め合う場を積極的に設定する。</p> <p>・道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、そうした実践に向けた意欲を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>93.6%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>88.2%</td></tr> </table> <p>・ いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の具体的取組を継続する。 児童各自が「目標を設定することの大切さ」に気付けるよう、家庭学習の習慣化の取組とも連携を図っていく。 	児童	93.6%	教職員	88.2%		
児童	93.6%							
教職員	88.2%							

<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育を徹底することにより、けがによる保健室利用を減少させる。 ・日常生活や教科指導の中で、自然災害（雷、竜巻、洪水等）について、学年の発達の段階に応じて指導し、安全に行動できるようにする。 ・避難訓練、交通安全教室などの定期的な実施、事前指導・事後指導の充実をとおして、児童が安全な学校生活を送ろうとする意識を高める。 ・登校・下校の際の随時指導、通学路の安全確保に向けての話合い活動などをとおして、児童が主体的に通学時の安全について考え行動する機会を設け、安全意識の高揚を図る。 ・毎朝のあいさつ運動や立哨活動などの機会を活用し、スクールガードチーフ及び見守り隊との連携を深め、児童の登下校の状況の把握に努める。 ・企業の防犯教室や、避難訓練時における宇都宮東消防署平石分署、宇都宮南警察署、警察スクールサポーター等、専門的な知識をもつ外部機関との連携を図った体験的な学習の場を設け、児童の危機回避能力や防災意識を高める。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員 100 % 保護者 92.9 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも、目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 今年度の反省を生かして避難訓練の更なる充実を図り、日常生活における安全のための判断力を身に付けさせていく。 ・ 情報交換会や定期的な交流により、スクールガードチーフ及び見守り隊との連携を図り、学校外での児童にとっての危険箇所を把握し、即時解決に努める。
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業で年間を通して「個性の伸長」等について指導し、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲を高めるとともに、宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、望ましい勤労観・職業観を、意図的・計画的に育む。 ・外部機関との連携を図った体験的な学習を通して視野を広げ、自分なりの夢や将来への目標をもてるようにするなど、児童の意識の高揚を図る。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童 93.6 % 保護者 85.4 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも、目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 外部機関・企業による出前授業等を活用して、社会への関心を高めたり社会との関係を学んだりする機会を確保し、将来の社会人としての基盤づくりに努める。 ・ 令和2年度から全市で導入されるキャリアパスポートの有効活用を図る。
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修等により教師自身の指導力を向上させ、英語によるコミュニケーションの楽しさを児童が実感できる授業の構築に努める。 ・外国語活動を通じて言語や文化について体験的に児童の理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童 92.9 % 教職員 94.1 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも、目標を上回った。児童がALTに積極的に話しかける姿も見られている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 休み時間や給食時のALTとの交流を継続する。

<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・社会科・生活科・総合的な学習の時間の授業や校外学習等を通じて、宇都宮市の伝統・文化・産業等に対する児童の理解を深め、郷土愛を育む。</p> <p>・校内に「宇都宮の良さ」をアピールする掲示を計画的に行い、児童の興味関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 児童 87.9%</p> <p>・ 目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 「うつのみや」コーナーで市に関する認知度は上がっているものの、じっくりと読んでいない児童が多いため、内容のさらなる充実とともに、学級においては、内容更新の度に、見に行くように声をかける。(3.4年は副読本の中でコラム扱いとなる。)</p> <p>・ 総合的な学習の時間の「宇都宮学」の充実を図る</p> <p>・ 3年生の社会科では、宇都宮市内めぐりなどの校外学習の実施を検討する。</p>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・教師が、授業において学習のねらいを達成させるために効果的に機器を用いることで、課題解決にICT機器等を活用しようとする児童の意欲を高める。</p> <p>・市の図書館とも連携し、授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童 88.6%</p> <p>・ 目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 市の図書館とは、十分連携している。市の図書館の本を利用した調べ学習への取組などを、図書館だより等で保護者に知らせる。</p> <p>・ 今年度末にタブレットが導入されるので、普段の授業や授業参観等で積極的に活用する。</p> <p>・ 国の推進するGIGA (Global and Innovation Gateway for All)スクール構想を受けた、県や市の動向を注視していく。</p>
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>・体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを涵養する。</p> <p>・人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。</p> <p>・総合的な学習の時間や各教科の授業等において、地域の方や高齢者と交流する機会を設け、感謝や相手を思いやる心を育む。</p>	<p>【達成状況】 児童 96.4% 保護者 95.3% 教職員 100% 地域住民 100%</p> <p>・ いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p>

	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間等の授業を通して、地域や国土の環境や防災への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。</p> <p>・学校行事や体験活動、地域社会との連携などを、「持続可能な社会」の視点から関連付けて再確認し、工夫改善を図る。</p> <p>・東日本大震災をはじめとした過去の災害の具体事例から学ぶ教材を工夫し、防災教育を充実する。</p>	<p>【達成状況】 児童 93.6% 教職員 58.8%</p> <p>・児童は目標を上回ったが、学校での観察では、教職員は指導の工夫の必要性を感じている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の具体的取組を継続する。 ・プロジェクト活動の充実を図り、牛乳パックのリサイクルやプラスチックごみの分別、環境美化への呼びかけなど継続して行う。 ・教室移動の際の消灯、手洗いの際の不要な水道の使用防止等、節電・節水などについて周知徹底を図る。 ・SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を意識した学校からの情報発信を進める。
目	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>・通常の学級においても、必要に応じて個別の支援計画の作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員 94.1%</p> <p>・目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の具体的取組を継続する。 ・指導上必要な情報を教職員間で共有し、課題には組織的に対応し、解決に努める。 ・校内研修等を一層充実させ、適切な指導及び必要な支援の在り方について、教職員の理解を深める。 <p>※ 児童指導に関する特記事項については、職員会議等で共通理解を図る場を設ける。</p>
す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>・本校基本方針を学校ホームページで公開するとともに、瑞穂野南小学校地域協議会や学校だより等を活用するなどして周知を図り、いじめ防止等の対策を家庭や地域との連携の下に推進する。</p> <p>・いじめゼロ強調月間の取組やプロジェクト活動によるいじめ根絶に向けた児童の活動等をとおして、いじめの未然防止に努めるとともに、いじめの早期発見及び適切な対応に努める。</p> <p>・児童の活動のようすについて、授業参観の折に全体会（校長講話）を活用した周知方法を工夫する。</p> <p>・いじめの原因の一つともなり得る携帯電話やスマートフォンなどに関する約束や情報モラル等を指導するとともに、適切な使い方について保護者と共通理解を図る場を設定する。</p>	<p>【達成状況】 児童 97.9% 保護者 82.9%</p> <p>・児童は目標を上回ったが、保護者はやや下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の具体的取組を継続する。 ・いじめ防止月間（6月と9月）に、学年だより等で学校の取り組みを紹介する記事を掲載し、地域住民や保護者へ周知するなど、積極的な情報発信に努める。 ・道徳科でも、いじめに関する教材を引き続き取り上げる。全学年一斉に道徳の時間にいじめに関する授業を実施するなどして、学校全体でいじめのない環境づくり体制の強化を図る。 <p>※ 授業参観で、全学年一斉に道徳の授業を公開することを検討する。</p>

<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・互いに存在を認め合う人間関係づくりを目指し、各自が自己肯定感を高められるよう、教師による日常的な声掛けや朝の会・帰りの会等での児童が互いに称賛し合う場の設定を行う。</p> <p>・教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向のある児童に係る校内での情報共有を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童 97.1%</p> <p>・ 目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 学級での取組を学級懇談会や学年だよりで周知する。</p> <p>・ 個人懇談、年2回の教育相談、Q-U検査、アンケート調査等を通して、不登校・問題行動等の早期発見・早期対応に努める。</p> <p>・ 情報交換を通して全職員が児童理解に努めるとともに、組織的対応のできるシステムを構築する。</p> <p>・ 「共遊の時間」を継続実施する。</p>
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・特別な支援を必要とする児童の特性による学習上・生活上の困難の理解に努め、必要に応じて特別支援教育コーディネーター・養護教諭・SC等と連携し、支援に係る適切な判断や支援を行える体制を整えておく。</p> <p>・児童が、国籍や文化の違い等を認め合い尊重し合いながら生活できるよう、国際理解を推進し、日常的な指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員 94.1%</p> <p>・ 目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ スクールカウンセラーとの更なる連携強化に努める。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・日常生活や瑞南ふれあい祭りなど、あらゆる教育活動の場面で、児童相互、教師と児童、教師と保護者や地域の人とふれあう機会を設定する。</p> <p>・児童会活動の活発化を図り、児童が主体的に取り組む場を設ける。</p> <p>・なかよし班活動を通して異学年交流の場を設定したり、「共遊」の時間に担任と児童がともに遊ぶ時間を設けたりすることで、児童同士や教師と児童間の良好な関係を構築し、いごこちの良い学校づくりに努める。</p> <p>・教師間のコミュニケーションを十分図って風通しの良い関係を構築し、校務分掌の枠を超えて協力・分担する協働の意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 児童 97.9% 保護者 93.7% 教職員 100% 地域住民 100%</p> <p>・ いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 異学年交流が効果的に実践できるよう活動の場を精選し、児童同士のふれあいを一層深め、望ましい人間関係の構築を目指す。</p> <p>・ 「なかよしタイム」及び「共遊の時間」を継続実施し、児童同士・教師と児童間の豊かな人間関係の構築に努める。</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいの明確化と振り返りの実施により、児童が見通しをもって取り組める授業を行う。 ・児童の学習の実態を踏まえて、教材を工夫するなど、分かる授業の実践に努める。 ・学級担任とかがやきルーム指導員や習熟度別対応の教員の連携を密にし、より一層効果的な実施方法を工夫して少人数指導の充実を図る。 ・年間をとおして内容を整理した職員研修を実施し、教師一人ひとりの授業力向上を図る。 ・教職員と児童、児童相互のコミュニケーションに際し、傾聴の姿勢が身に付くよう、さらに学習環境作りに努める。 ・児童が「できた」「わかった」と感じる授業を展開するとともに、保護者へ発信する。 ・「授業を見せ合おう月間」を中心に全教職員が互いの授業を見せ合い学び合い、各自の授業力向上を図る。 	<p>【達成状況】 児童 98.5% 保護者 89.4% ・ いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 「授業を見せ合おう月間」の継続実施により、教職員同士で学び合い、各自の授業力向上を目指す。 ・ 習熟度別学習やT・Tなどの指導を充実させ、児童の実態に合わせて、それぞれの力をさらに伸ばすことのできる指導や取組について工夫していく。
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、話を聴く、声をかける、称賛する、指導する、家庭と連携するなど、児童・保護者等と積極的にかかわりをもつ。 ・教職員同士協力し合い、協働で教育活動の推進に努める。 ・授業参観や学級懇談会などの内容を工夫し、指導方針や学級経営方針への理解を深めるよう努める。 	<p>【達成状況】 教職員 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 打合せの時間を確保したり、教職員同士の報・連・相を徹底したりして、コミュニケーションを十分図れるようにする。 ・ 全教職員が学校経営への参画意識をもってチームとして取り組めるよう、共通課題を設定し解決に取り組む。
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が児童と向き合う時間の確保に努めるために、働き方改革の視点に立って、業務の効率的な実施・計画的な処理を意識する。 ・全教職員が、各自の立場から負担軽減の方策を考えて実践するなど、更なる業務改善に努める。 ・ミライムによる出退勤の記録を蓄積することにより、教職員自身の適正な勤務時間の管理についての意識を高める。 	<p>【達成状況】 教職員 88.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の具体的取組を継続する。 ・ 引き続き、全教職員が、各自の立場から校務の整理と業務改善の方策を踏まえた「一人一改善」を提案し、共通理解を図って実践できる体制づくりに努める。

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・地域学校園分科会・分科会ごとに今年度の基本方針を受けた取り組みの充実を図る。</p> <p>・4校連教育講演会や全体研修会の実施により、小中の相互理解を深める。</p>	<p>【達成状況】 教職員 100%</p> <p>・目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・次年度も地域学校園での取り組みを継続する。</p> <p>・児童や保護者にも広く「小中一貫教育」の取組と意義を周知するため、広報活動も積極的に行う。(小中一貫だより等の発行、地域協議会だよりとの連携)</p> <p>A</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域の肯定的回答85%以上</p>	<p>・地域協議会と連携し、教育活動の充実と活性化を図る。</p> <p>・街の先生や地域ボランティアの方々と連携を重視し、一層の充実を図り、学校行事や授業に積極的に活用することをおして、地域の教育力の活用を図るとともに、学校と地域が共同で児童の健全育成を進めようとする環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 保護者 94.6% 地域住民 88.9%</p> <p>・いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・地域協議会との連携を更に強化し、学校行事や授業への協力を地域へ依頼することにより一層の教育的効果が期待できる活動を洗い出し、計画的な要請を実現させる。</p> <p>B</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域の肯定的回答85%以上</p>	<p>・企業による出前講座、校外での体験学習等、校外の各種機関の専門知識、施設・設備を活用した多様な学習を位置付ける。</p> <p>・地域協議会と連携し、学校経営方針への保護者・地域住民の理解を深め、意見や学校関係者評価の結果を反映させて学校経営の改善に努める。</p>	<p>【達成状況】 保護者 94.6% 地域住民 88.9%</p> <p>・いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・教科のねらいの達成に有効な、企業による専門性をいかした出前授業・各種公共施設・校外学習・学習ボランティア等の活用により、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p> <p>B</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・定期的に学校施設の安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>・危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。</p> <p>・熱中症対策予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、時期に応じて適切な保健指導管理に努める。</p>	<p>【達成状況】 保護者 94.5% 教職員 100%</p> <p>・いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・定期的な安全点検、時期に合わせた適切な保健指導・安全指導により、児童の環境上の安全を確保するとともに、児童自身の危機回避能力を育成する。また、それらの取組を学校だよりや保健だより等で保護者及び地域住民にも情報発信し、日常生活における安全な行動の仕方を共有していく。</p> <p>B</p>

	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・教師が、授業において学習のねらいを達成させるために効果的に機器を用いることで、課題解決にICT機器等を活用しようとする児童の意欲を高める。そのため、校内研修でICT機器活用研修を行い、教師の指導力の向上を図る。</p> <p>・市の図書館とも連携し、授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員 94.1%</p> <p>・ 目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 新規導入タブレットを用いて、パソコン室以外(教室・屋内運動場等)での効果的なICT機器の活用も実践することで、児童の学力向上と教職員の授業力向上を目指す。</p> <p>・ 市立南図書館と連携した図書資料の活用に継続して取り組むことにより、学習内容の充実を図る。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B1 児童は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を高めている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、地域の行事に積極的に参加している。」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>・地域でのボランティア活動や行事等で、児童が参加可能な機会について情報を収集するとともに、児童の参加の様子を定期的に広報し、児童に活動のめあてを明示したり、参加しようとする意欲を高めたりする。</p> <p>・5年生が取り組むホタルの飼育など、児童が地域の方々と共同で活動できる機会の充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童 81.3% 保護者 76.7% 地域住民 100%</p> <p>・ 地域住民のみ目標を上回った。児童・保護者は目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 地域協議会と連携し、事前に地域の行事等の情報を得て児童に広く広報し、参加への意欲を喚起する。参加後の振り返りを促し、各自が地域の一員であることを自覚できるよう働きかける。</p>
	<p>B2 家庭と連携した基本的な家庭学習の習慣が育成されている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、家庭と連携した基本的な家庭学習の習慣が身に付いている。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>・家庭学習スタンダードを活用し、家庭と連携しながら家庭学習を奨励する。</p> <p>・児童の学習状況を踏まえた課題を与えるなど、家庭学習を効果的に進められるような学習環境づくりを進める。</p> <p>・学年だより、学級懇談会、授業参観やオープンスクールなどの機会を活用し、学校と家庭が連携を図りながら児童の学習を支えられるような体制づくりに努めるとともに、児童のよさや成長の跡を伝え、さらなる家庭の協力を呼びかける。</p> <p>・家庭学習強化週間を設定し、積極的な取り組みの様子を紹介したり称賛したりして、家庭学習に対する児童や家庭の意識の高揚を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童 89.2% 保護者 83.8%</p> <p>・ 児童のみ目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ 今年度の具体的取組を継続する。</p> <p>・ 学年だより、学級懇談会、授業参観等で、繰り返し家庭学習の意義について保護者に啓発し、理解を深める。それにより、学校と家庭が連携して、家庭学習に意欲的に取り組む児童の育成を目指す。</p> <p>・ 家庭学習強化週間の前後などで、家庭学習の具体的なアドバイスを提示したり、工夫が見られる児童の取組を広く紹介したりするなどして、児童の学習意欲を高める。また、望ましい学習習慣を身に付けるための保護者の関わり方等についても紹介し、親子で、個に応じた家庭学習の仕方について相談できるようにする。</p>

<p>B3 児童は、自分のよいところに自信をもち、自己肯定感をもって生活している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、自分のよさに自信をもって生活している。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>・児童の自尊感情を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。</p> <p>・授業では、振り返り活動を重視し、児童が発揮したよさや努力したこと、自分の成長を自覚できるような自己評価、相互評価の場を設ける。</p>	<p>【達成状況】 児童 91.3% 保護者 85.8%</p> <p>・いずれも、目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の具体的取組を継続する。 ・帰りの会等で、日常的に児童が互いのよさを認め合う時間を確保する。また、学年を超えて互いのよさを認め合ったり紹介し合ったりする特設週間を設け、自己肯定感の涵養に努める。</p>
--	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 評価に関する数値的指標は28項目中23項目で達成されており、概ね良好な状況である。特に、児童への設問では、20項目中19項目で市の平均を上回っており、学校の教育活動にうまく適応しているものと考えられる。
- ・ 「思いやりの心」「きまりやマナーの順守」「健康や安全への留意」「高齢者への思いやり」「活気ある学校」に関しては、教職員・保護者・地域住民・児童のいずれも高い評価であり、落ち着いた生活の様子が高く評価されている。
- ・ 「時と場に応じたあいさつ」に関しては、児童の肯定的回答が約98%（H30は約97%）、保護者約95%（H30約90%）と、更に改善された。全校体制での取組が結果としてあらわれた。
- ・ 「いじめへの取組」に関しては、保護者の肯定的回答が約83%と、目標をやや下回った。児童は約98%であるため、いじめのない環境づくりに努めるという学校の姿勢を理解しているものと考え、次年度は保護者に向けての啓発活動を充実させたいと考える。
- ・ 「積極的な学習への取組」に関しての保護者の肯定的回答は約93%と高いものの、「家庭学習の習慣化」に関しては約84%と、数値が下がった。学年便りや懇談会等で家庭学習の重要性や取り組み方を繰り返し発信する必要がある。
- ・ 「ICT機器や図書を活用」に関しては、保護者の肯定的回答は約68%で、市の平均をわずかに下回った。新しい機器も導入されるので、今まで以上に授業で活用し、教職員の授業力向上に役立てるとともに、授業参観などで保護者にも紹介したい。
- 「小中一貫教育」に関しては、児童の肯定的回答は約79%（H30は約90%）であった。日常の中で実践している多くの活動が地域学校園での共通理解の下に実践されていることを児童自身が改めて認識できるよう、児童への啓発にも力を入れ、地域の一員としての自分たちの在り方を考えさせる必要がある。

7 学校関係者評価

- ・ 「いじめへの取組」に関しては、教職員は「指導すべきことはきちんと指導している」と思う。しかし、この結果から、実際に大きな「いじめ」という問題には達していなくても、日常生活で児童の間に「からかい」等が存在していると感じている保護者がいるのだと考えられる。学校としての情報発信を行うだけでなく、情報収集にも工夫して取り組むとよいのではないか。
- ・ 保護者や児童が、教職員に安心して何でも相談できると感じられるよう、より良い人間関係の構築に努めてほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 「いじめへの取組」については、授業、児童指導、異学年交流等、あらゆる機会を通して、引き続き「からかいは、いじめの始まり」を合言葉に、「いじめ」はもちろん「からかい」もない学校生活の充実に努める。また、授業参観での各学年統一の道徳の授業公開を通して、保護者といじめ防止の方策を共有し、同じ信念の下でいじめのない環境づくりが行えるようにする。また、年2回の教育相談週間（6月・11月に各2週間を設定）を引き続き実施し、児童と担任がより良い関係の中で、何でも相談できる場として充実させるとともに、保健室前に設置した相談ポストも有効に活用していく。
- ・ 積極的な広報活動を通して学校での様々な取組を継続して発信するとともに、授業参観時等の保護者へのアンケートの実施や各種懇談の機会を捉えて、随時保護者の生の声の収集を行い、学校教育活動の取組状況の確認や見直しにいかしていく。
- ・ 家庭学習の習慣化と充実のために、情報提供や指導の工夫を行うなど、「自ら学び、考える」児童の育成のために更なる取組を推進する。